

(公社)神奈川労務安全衛生協会 藤沢支部

第4回 2025年 安全勉強会

皆さんこんにちは。神奈川労務安全衛生協会藤沢支部支部長を努めております、いすゞ自動車(株)の森です。

今年も恒例の安全勉強会を弊社藤沢工場にて執り行いました。この活動も4回目となります。思い起こせば弊社が支部長へ就任致しました4年前、実効性が有る具体的な労働災害防止活動は出来ないだろうか?と思索した結果、藤沢支部として3つを柱とした取り組みを掲げました。

1つ目は年間における「労働災害防止についての注意喚起」。毎年夏前には熱中症対策について具体的な注意ポイントや傾向を記載。年末には繁忙期における労働災害防止についての注意喚起。その他ではその時々における注意喚起(直近では昨年夏頃多発したクレーン事故についての死亡災害)等を積極的に発信しています。

2つ目は「各種研修・教育における注意喚起」。具体的には職長教育等において現場で指揮を司る重要な方へ、藤沢労働基準監督署の安全衛生課長自ら労働災害防止における注意喚起を生の声で伝えて頂いております。よりリアルな注意喚起でボトムアップを図る事で、現場で働く方の意識の向上を狙っています。そして3つ目はこの後ご報告いたします「安全勉強会」です。こうした活動を続けることで藤沢管内での労働災害防止の一助となるべく藤沢労働基準監督署のご理解・ご協力を頂きながら今日も進めております。

さて話は戻りますが、今年も大勢の方にご参加頂きました。

監督署からは藤沢労働基準監督署の松下署長、野口副署長、空野安全衛生課長、関場厚生労働事務官を始め、平塚、厚木、横浜西、鶴見、川崎北、横浜北、小田原、相模原の各方面の労働基準監督署の代表。また今回は神奈川労働局労働基準部監督課の中村主任監察監督官にもご参加頂きました。

労務安全衛生協会からは法元部長、藤沢支部からは7事業場10名の参加となり合わせて総勢33名と昨年を大きく上回る参加者であり、多くの方に注目頂いている事を実感致しました。大変有り難いことです。



中村主任監察監督官のご挨拶



全員揃っての集合写真

天候ですが梅雨真っ只中と言う事も有り当日の天気は危ぶまれましたが晴天とまでは行かないものの雨は降ること無く予定通りに進みました。

今回の勉強会ですが「自動車が完成するまでの工程を見たい」と言う声から材料が搬入されそれを形成、組み立て、検査、商品化するまでの一連の工程を見て頂きその所々での労働災害防止活動を見て頂く流れでスケジュールリング致しました。

最初の工程はコイル材（鋼板とも言います）がプレス機にてドアパネルに整形される工程。プレス機から出てきたドアパネルですが裁断している事から各部がエッジとなっており運搬時には気を使います。この工程での作業員は耐擦り加工を施した保護着（作業着）を着用し身を守っています。



保護着を着用し作業

次はアルミダイカスト製造工程。ここでは溶解炉を見て頂きトランスミッションケース等を作るため溶湯をリーチフォークにて運搬しています。オペレーターは防護服を着用し出来るだけ溶湯から距離をおき速度を極力抑え溶湯を落ち着かせて運搬しています。

続いてトランスミッション内部構成部品製造工程です。トランスミッション内部は沢山のギヤ（歯車）で構成されており素材からギヤが出来るまでを見て頂きました。切削は機械加工で行なわれており、インターロック（安全装置・保安装置）にて安全を担保しています。



加工機械のインターロック



インターロック置き場

次にトランスミッション組立工程に進みました。

ここでは従来人の手でハンマリングにて部品の組付け（ギヤの回り止めキー）を行っています。

したが、これをオートメーション化し作業軽減、リスク回避を行っています。



回り止めキーの自動ハンマリング

塗装工程ではロボット作業、検査工程等を防護服着用でご視察。



#1ロボットでの塗装



#2ロボットでの塗装

次にエンジン、パワートレイン、アクスル、電装品、等の組み立て工程。何処の工程もそうですがこの季節熱中症対策に非常に気を使います。弊社では工場内の大気を出るだけ循環させ気温にムラが出来ないように工夫や屋根に断熱材を貼り付け直射熱を回避するなどの対策を行っています。また近年では「クールスーツ」(空気を強制圧送させるベスト)等を導入し更なる対策を講じています。



クールスーツの試着

またフォークリフトにはスポットクーラーを搭載しオペレーターの熱中症予防を図っています。



フォークリフトスポットクーラー

こうして見ますと一昔から比べると比較にならない対策が進んでいることが分かります。気象庁からも年々暑さが増すことが予想されています。我々も遅れること無く作業される方々が少しでも暑さが軽減できるよう努力をしていかなければなりません。

後半はいすゞ伝承館をご視察頂きました。伝承館とは「いすゞ自動車で起きた重大災害を忘れない・風化させない。そして安全第一であり続ける」をテーマとした施設です。「語り部」と言われる案内人が一つ一つ丁寧に重大災害を映像やジオラマといった資料と共にリアルに伝えその時の悲しみや痛みを永劫に伝え続ける内容となっています。

この伝承館を出た後はもう二度とこうした災害を起こさない気持ちがより一層増し、安全に対する意識が高まります。



安全伝承館 入口



安全伝承館 語り部

最後は「いすゞプラザ」をご視察頂きました。

いすゞ自動車の創業は1915年（大正5年）であり来年で創業110年となり日本最古の自動車メーカーです。その長い歴史とともに今までいすゞ自動車が歩んできた年表等が実車と共に展示されています。皆さんいすゞ自動車がかつては乗用車を作っていたことをご存知でしょうか？古

くはPA10、スミダ、ヒルマン、ベレル等。有名どころではベレットGT、117クーペ、ジェミニ、ビッグホーン等、一部のマニアでは高旧車（高級車をモジッて）として目を引いているようです。また「GT」のネーミングはいすゞ自動車が始まりなんです。

某横浜有名バンドの歌詞の中にも出てくるほどです。

※いすゞプラザはどなたでも入場出来ます。詳細はホームページを御覧ください。なお、入場無料です。（要予約）



新型トラック



いすゞジェミニ

一通り予定を熟し、最後に藤沢労働基準監督署松下署長からの総括で「安全は一日にしてならず。継続することが重要である。参加された事業場の方は今日学んだことを展開頂き労働安全に一層努めて頂くようお願いする。藤沢管内は元より神奈川県全体で労働災害防止に努めるようご協力願う」とのお言葉で締めくくって頂きました。



松下署長による総括

藤沢支部ではこれからも安全で安心な職場づくりを続けて参ります。皆様、ご安全に。